

岡山県感染症週報 2012 年 第 30 週 (7 月 23 日～7 月 29 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2012 年 第 30 週 (7/23～7/29) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 28 週	5 類感染症	風しん	1 名 (30 代 男)
第 29 週	2 類感染症	結核	2 名 (幼児 女 1 名、60 代 男 1 名)
	5 類感染症	梅毒	1 名 (30 代 男)
第 30 週	2 類感染症	結核	1 名 (80 代 男)
	3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1 名 (O121: 20 代 女)
	5 類感染症	後天性免疫不全症候群	1 名 (60 代 男)
		風しん	1 名 (30 代 男)

■定点把握感染症の発生状況

- ヘルパンギーナは、前週よりさらに増加し、第 24 週以降増加がつづいています。
- 手足口病は、わずかに増加しました。

【速報 第 31 週】腸管出血性大腸菌感染症 2 名 (O26: 乳幼児 男 1 名・女 1 名) の発生がありました。

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、第 30 週に 1 名、第 31 週に 2 名、2012 年は 8 月 2 日までに 23 名の発生がありました。岡山県では「**腸管出血性大腸菌感染症注意報**」を発令し、注意喚起を図っています。例年 8 月は、最も患者発生が多く見られます。食品の取り扱いに注意するなど、ひきつづき感染予防に努めましょう。症状や予防法など、詳しくは岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!](#)』をご覧ください。
2. **ヘルパンギーナ**の定点あたり患者数は、前週より増加し (定点あたり 2.19 → 3.04 人)、第 24 週以降増加がつづいています。今後も県内の発生状況に注意するとともに、感染予防に努めて下さい。詳しい発生状況などは「**今週の注目感染症**」をご覧ください。
3. **手足口病**の定点あたり患者数は、前週からわずかに増加しました (定点あたり 0.35 → 0.69 人)。岡山県では過去 10 年の同時期に比べ、患者は少数で推移しています。全国集計では、第 19 週以降増加がつづいており、第 29 週は、新潟県 (定点あたり 8.58 人)、福井県 (5.86 人)、青森県 (5.54 人) など、東日本で患者が増加傾向です。
4. **風しん**は、第 28 週に 30 代男性 1 名、第 30 週に 30 代男性 1 名の発生があり、岡山県では 2012 年第 30 週までに 30～40 代の男性 5 名が報告されています。患者のワクチン接種歴は、接種なしが 1 名、接種不明が 4 名でした。全国では 7 月 25 日現在、776 名の発生があり、2008 年の調査開始以来、最も発生の多かった 2011 年の累積報告数 (371 名) の 2.1 倍の報告数となっています。都道府県別では、東京都 167 名、兵庫県 166 名、大阪府 160 名、神奈川県 56 名と、関東地方、近畿地方で患者が増加しています。男女別では、男性は 20～40 代を中心に 597 名 (77%)、女性は 10～30 代を中心に 179 名 (23%) であり、男性が女性の 3.3 倍報告されています。2012 年は、5 月頃から患者増加が始まり、7 月下旬になっても発生がつづいており、厚生労働省から注意喚起がされています。

予防にはワクチンが最も効果的です。定期予防接種の対象者の方は、積極的に予防接種を受けてください。また、予防接種を受けていない方は、任意での予防接種を検討してください。

([全国 風しん発生動向調査](#) [国立感染症研究所 HP](#)、[岡山県感染症情報センターHP](#))

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★★★★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

前週からの推移： : 2倍以上の減少 : 1.1~2倍未満の減少 : 1.1未満の増減

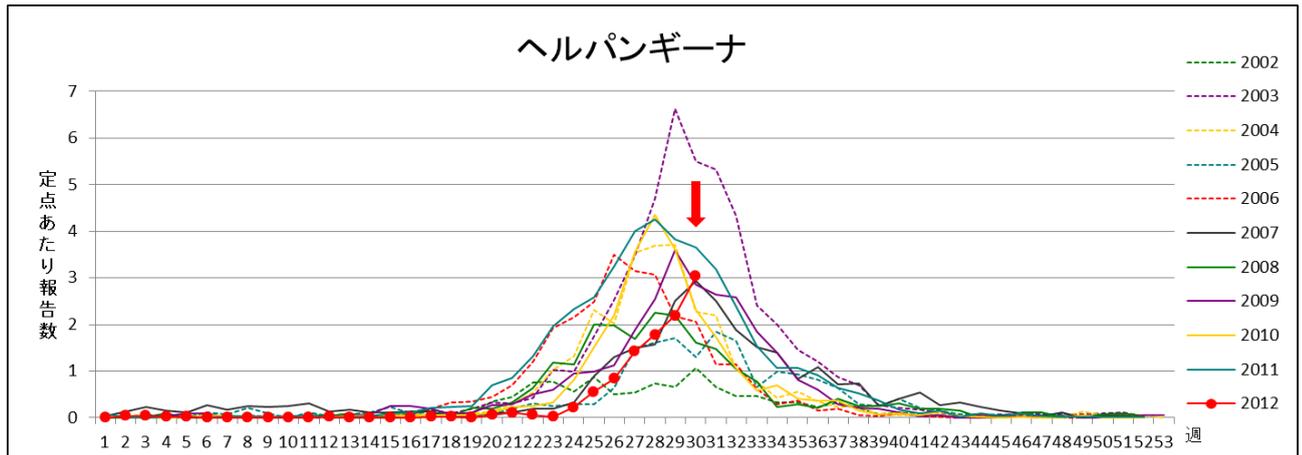
: 1.1~2倍未満の増加 : 2倍以上の増加

発生状況： 空白：発生なし ★：僅か ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

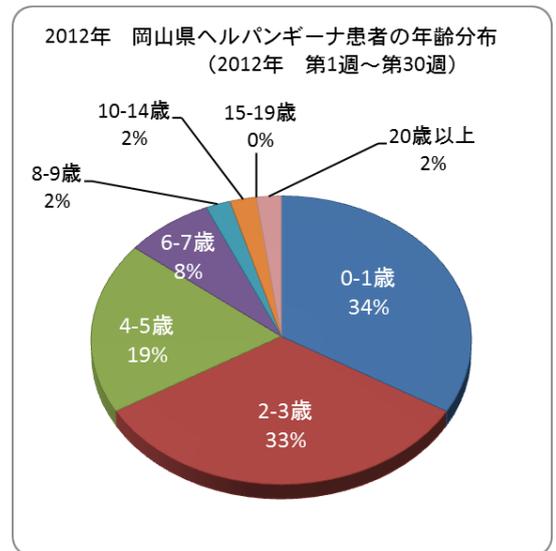
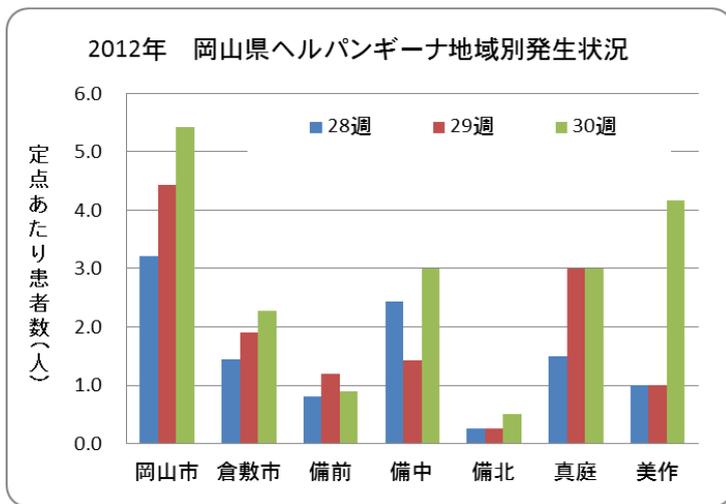
※今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

今週の注目感染症

1. ヘルパンギーナ



地域別では、岡山市（5.43人）、美作地域（4.17人）で患者が多く、県全域で患者が増加しています。年齢別では0-3歳の乳幼児が全体の約67%を占め、5歳以下を中心に感染が拡大しています。例年、この時期は流行が減少に向かう時期ですが、今年は依然として増加傾向であり、今後も増加が懸念されます。県内の発生状況に注意し、手洗いをを行うなど感染予防に努めましょう。体調を崩しやすい時期です。小さなお子さんが患者の中心ですので、お子さんの体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。



【ヘルパンギーナとは】

夏に流行する小児の急性ウイルス性咽頭炎であり、いわゆる夏かぜの代表疾患です。A群コクサッキーウイルスなどが原因となります。

突然の発熱につづいて咽頭痛が出現し、口腔内に直径1~2mmの赤い小水疱が多数出現するのが特徴です。通常2~4日で軽快し、予後は良好な疾患ですが、発熱時に熱性けいれんや髄膜炎を伴うことがあります。

ウイルスに特異的な治療法はなく、対症療法が中心となりますが、口腔内の小水疱が破れて痛みを伴うため、小さな子供では食べ物や水分が取りにくくなり、脱水症につながる場合がありますので注意が必要です。

保育園や幼稚園では集団発生することがあります。うがい・手洗いを励行し、おむつや便の取り扱いに注意して、感染予防と拡大防止に努めましょう。

保健所別報告患者数 2012年 30週 (2012/07/23～2012/07/29)

2012年8月1日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	2	0.02	-	-	2	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	2	0.04	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
咽頭結膜熱	14	0.26	8	0.57	1	0.09	1	0.10	-	-	4	1.00	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	0.43	4	0.29	8	0.73	1	0.10	4	0.57	-	-	3	1.50	3	0.50
感染性胃腸炎	233	4.31	36	2.57	60	5.45	58	5.80	14	2.00	25	6.25	8	4.00	32	5.33
水痘	44	0.81	20	1.43	9	0.82	2	0.20	7	1.00	-	-	1	0.50	5	0.83
手足口病	37	0.69	8	0.57	11	1.00	13	1.30	3	0.43	-	-	-	-	2	0.33
伝染性紅斑	10	0.19	4	0.29	-	-	2	0.20	4	0.57	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	41	0.76	16	1.14	5	0.45	9	0.90	4	0.57	-	-	3	1.50	4	0.67
百日咳	3	0.06	-	-	-	-	1	0.10	-	-	2	0.50	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	164	3.04	76	5.43	25	2.27	9	0.90	21	3.00	2	0.50	6	3.00	25	4.17
流行性耳下腺炎	22	0.41	6	0.43	7	0.64	8	0.80	1	0.14	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	1	0.20	1	0.25	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	0.60	-	-	1	1.00	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 30週 (2012/07/23~2012/07/29)

2012年8月1日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	2	0.02	-	-	2	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	14	0.26	8	0.57	1	0.09	1	0.10	-	-	4	1.00	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	0.43	4	0.29	8	0.73	1	0.10	4	0.57	-	-	3	1.50	3	0.50
感染性胃腸炎	233	4.31	36	2.57	60	5.45	58	5.80	14	2.00	25	6.25	8	4.00	32	5.33
水痘	44	0.81	20	1.43	9	0.82	2	0.20	7	1.00	-	-	1	0.50	5	0.83
手足口病	37	0.69	8	0.57	11	1.00	13	1.30	3	0.43	-	-	-	-	2	0.33
伝染性紅斑	10	0.19	4	0.29	-	-	2	0.20	4	0.57	-	-	-	-	-	-
百日咳	3	0.06	-	-	-	-	1	0.10	-	-	2	0.50	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	164	3.04	76	5.43	25	2.27	9	0.90	21	3.00	2	0.50	6	3.00	25	4.17
流行性耳下腺炎	22	0.41	6	0.43	7	0.64	8	0.80	1	0.14	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	1	0.20	1	0.25	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第30週 2012/07/23~2012/07/29)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	14	-	1	2	-	5	1	3	-	-	-	1	1	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	-	-	3	3	3	5	3	2	2	1	-	1	-	-
感染性胃腸炎	233	3	25	42	23	19	23	12	18	10	5	8	17	8	20
水痘	44	1	5	5	11	6	3	5	-	2	1	1	3	-	1
手足口病	37	-	4	8	6	7	5	2	3	-	1	-	-	-	1
伝染性紅斑	10	-	1	-	1	-	3	3	-	-	-	-	-	-	2
突発性発疹	41	1	25	14	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
ヘルパンギーナ	164	-	15	44	38	18	16	15	3	3	4	-	2	-	6
流行性耳下腺炎	22	-	3	-	2	1	3	2	6	3	1	-	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

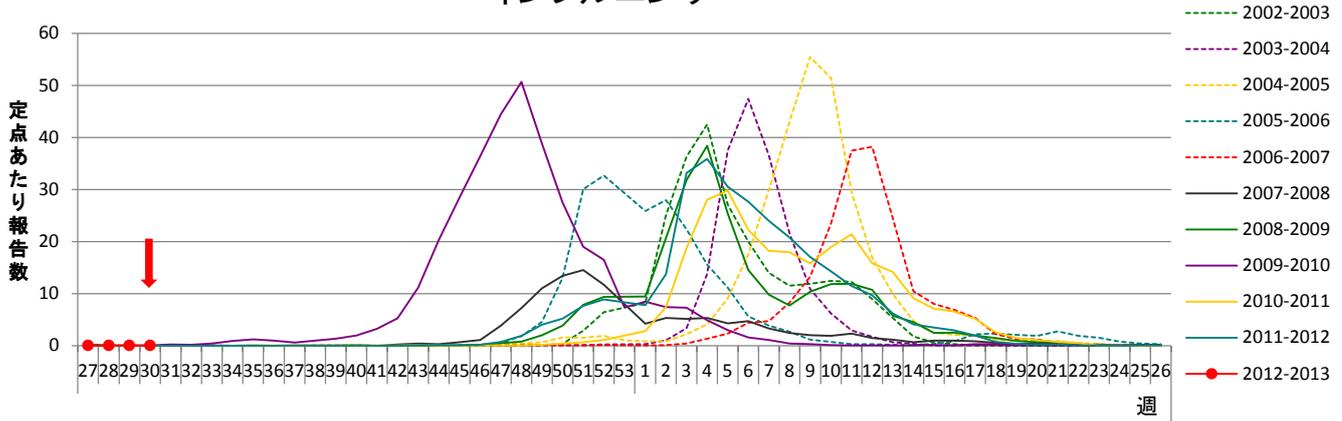
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

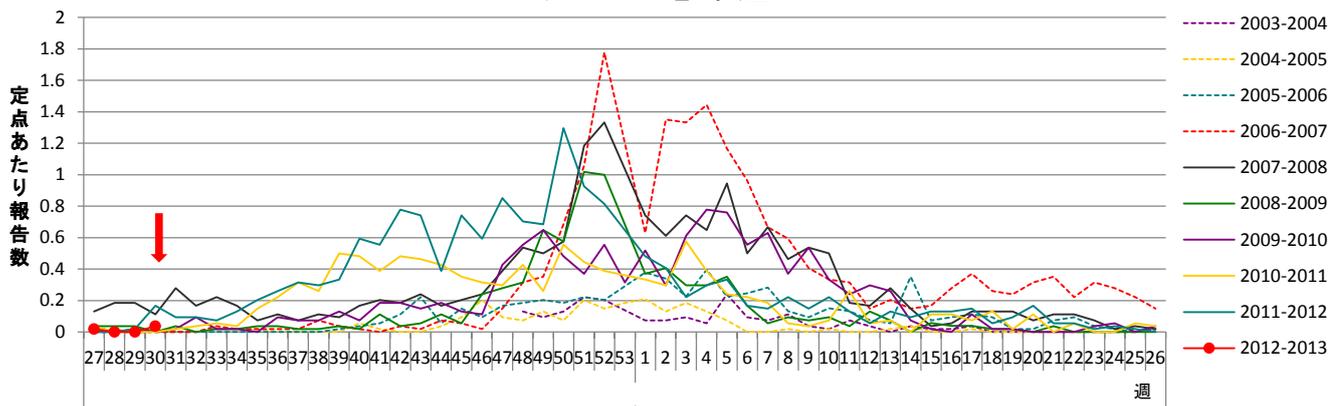
2012年 30週

分類	疾病名	2012			疾病名	2012			疾病名	2012		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	1	256	557	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	1	21	67
	腸チフス	-	1	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	2	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	1	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	12	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	9	11	ウイルス性肝炎*3	-	4	9	急性脳炎*4	-	1
クリプトスポリジウム症		-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
後天性免疫不全症候群		1	10	15	ジアルジア症	-	1	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
先天性風しん症候群		-	-	-	梅毒	-	4	9	破傷風	-	1	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	-	風しん	1	5	1
麻しん		-	6	4		-	-	-		-	-	-

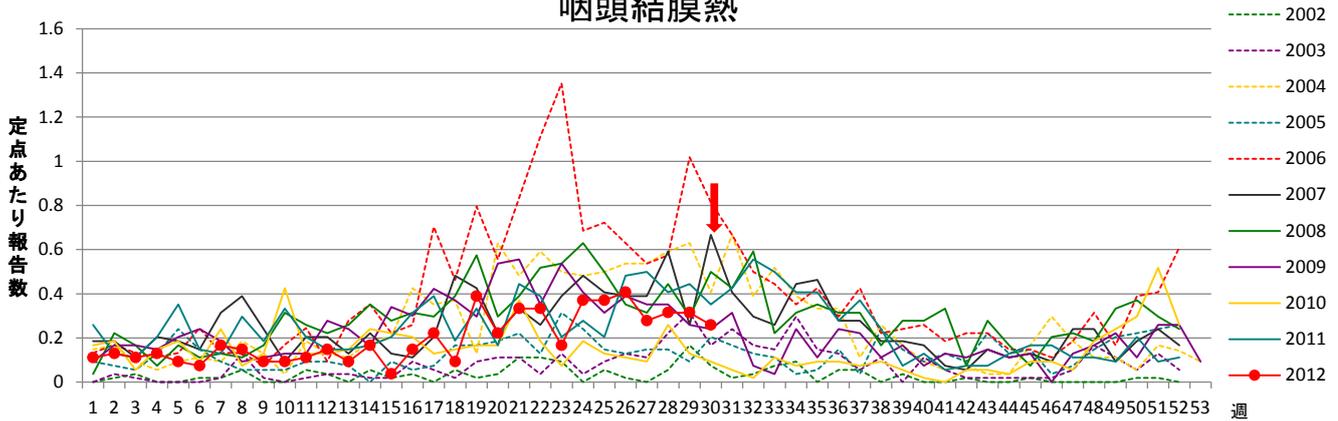
インフルエンザ



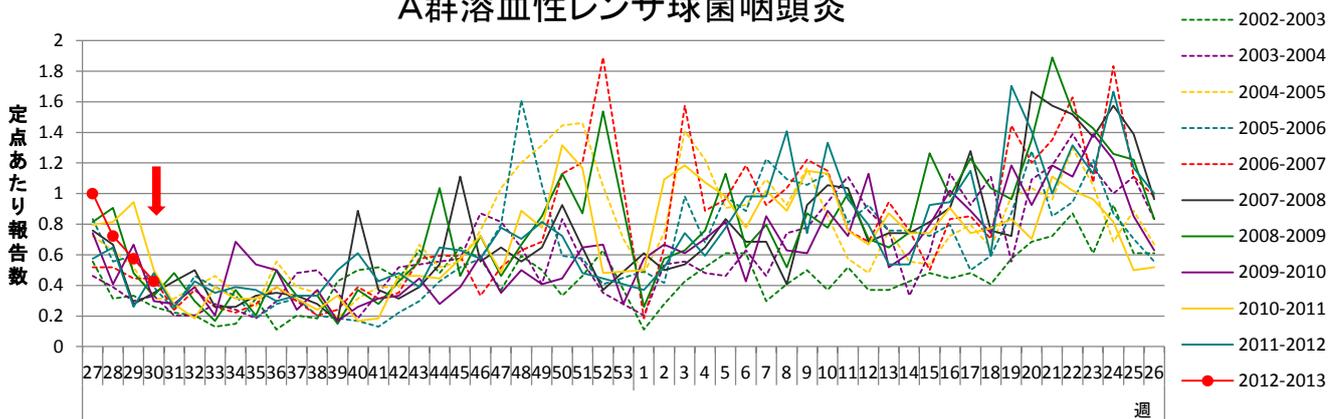
RSウイルス感染症



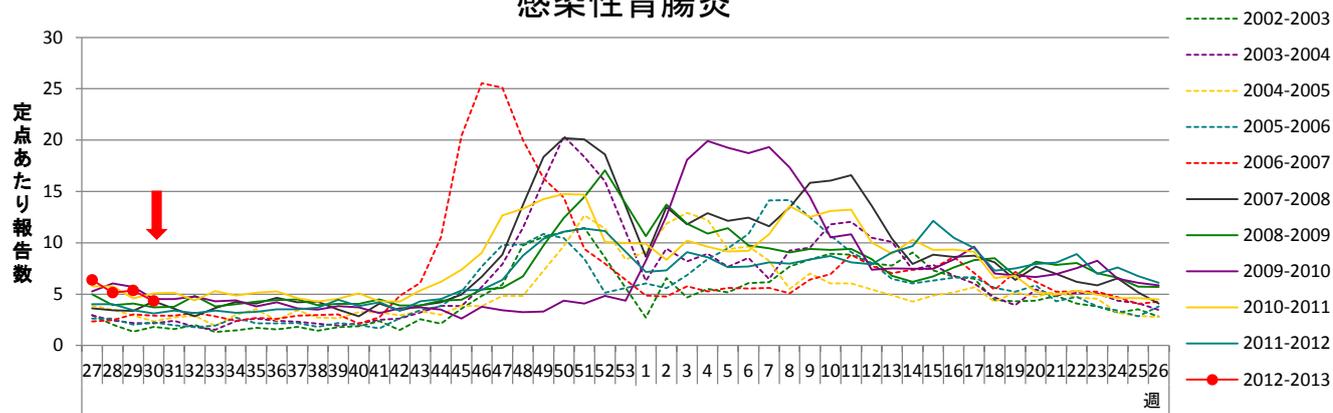
咽頭結膜熱



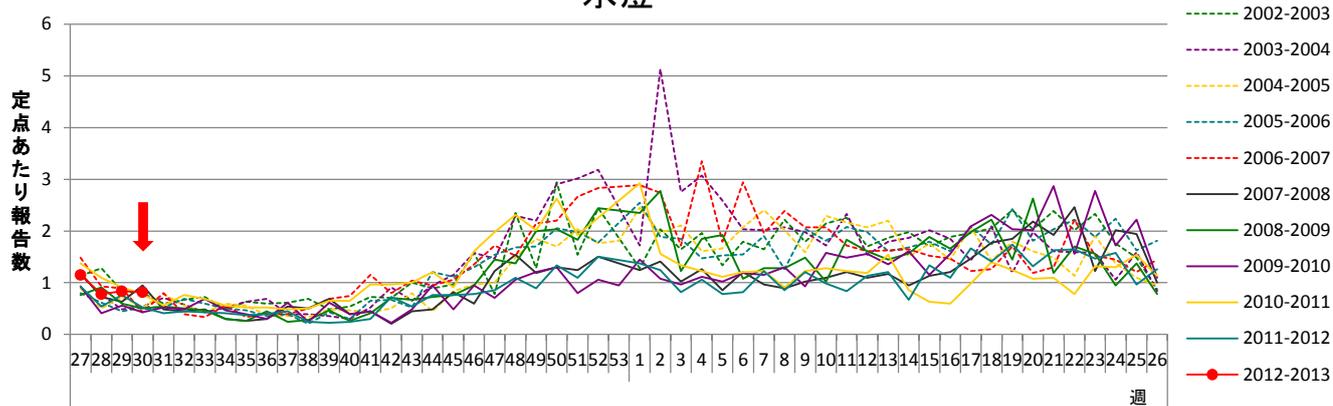
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



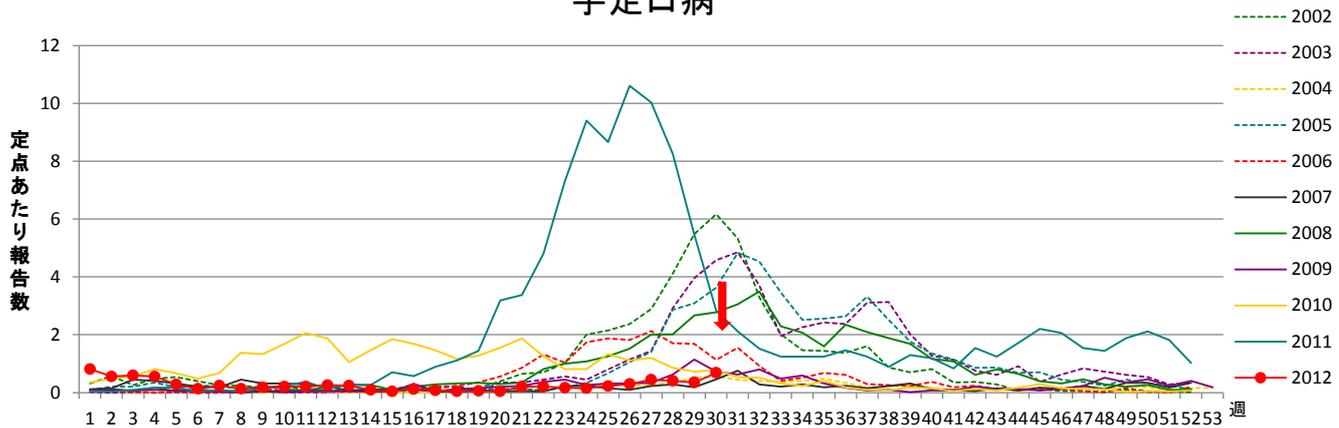
感染性胃腸炎



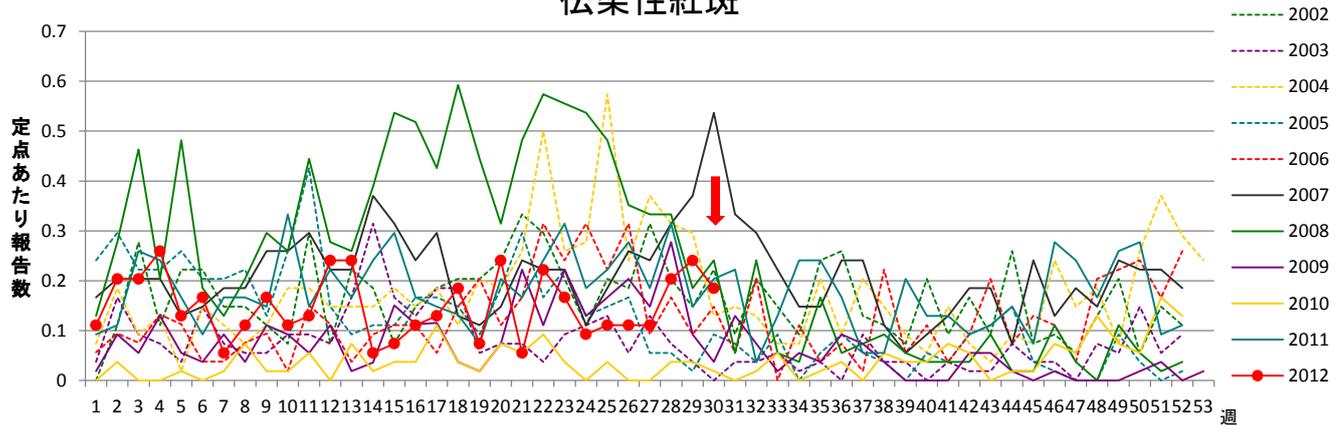
水痘



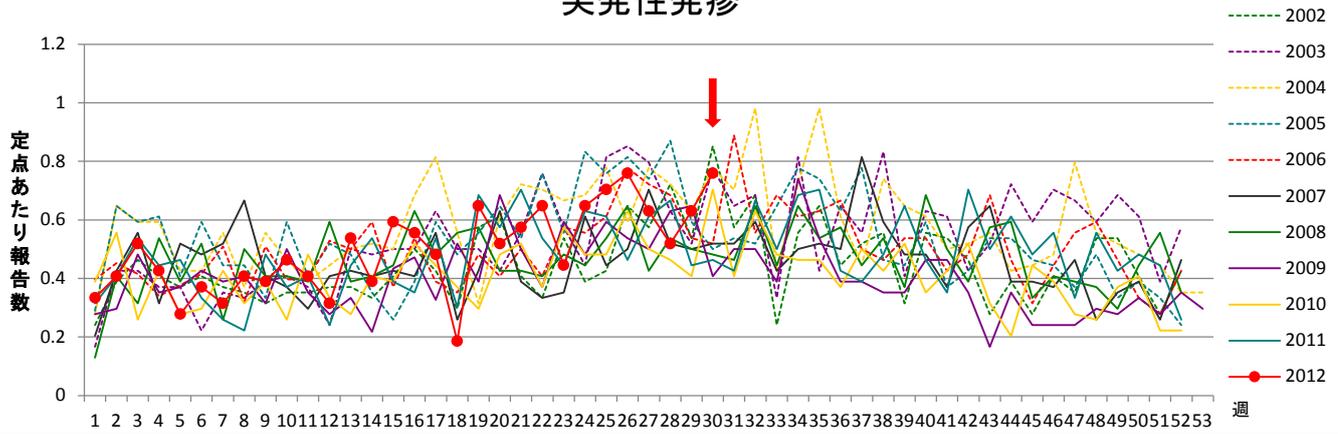
手足口病



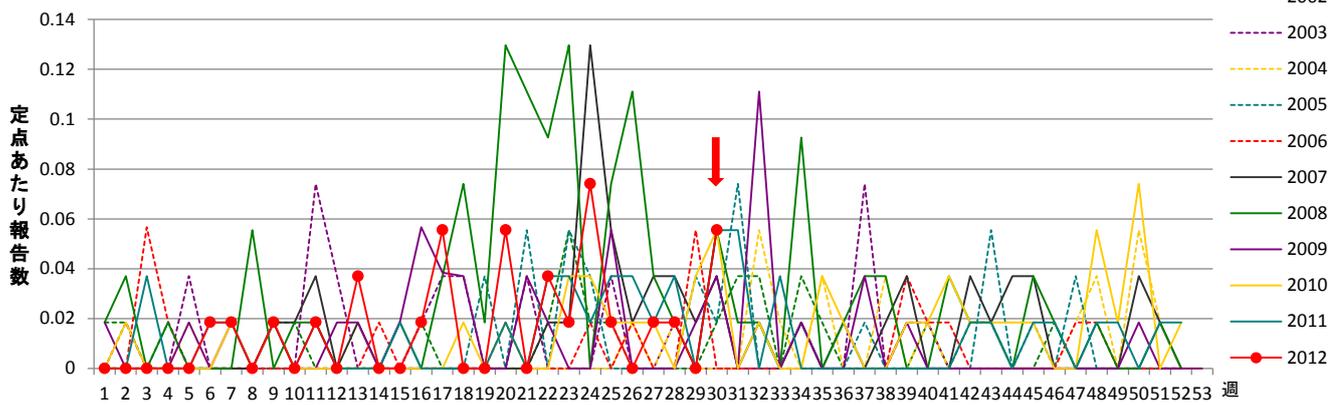
伝染性紅斑



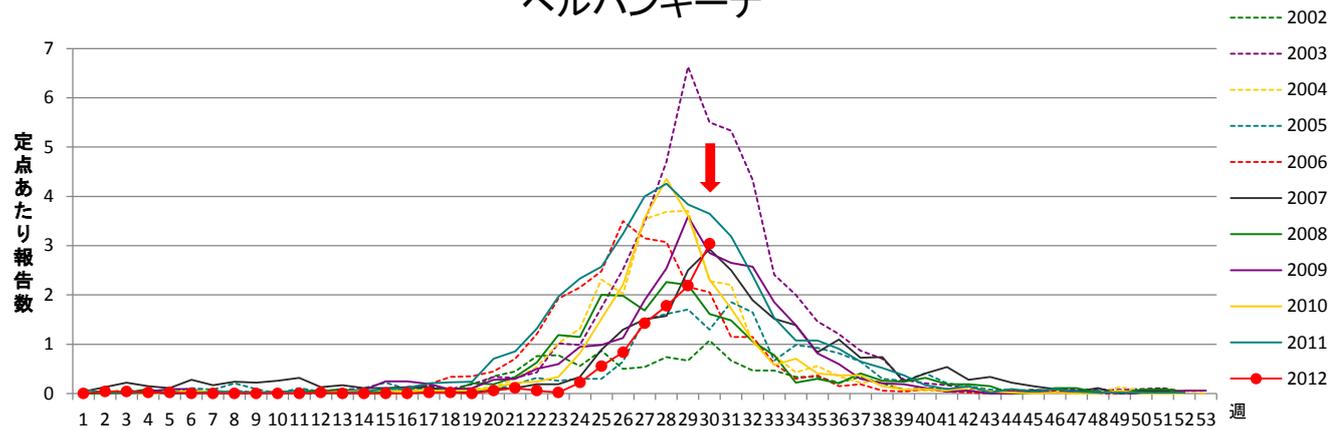
突発性発疹



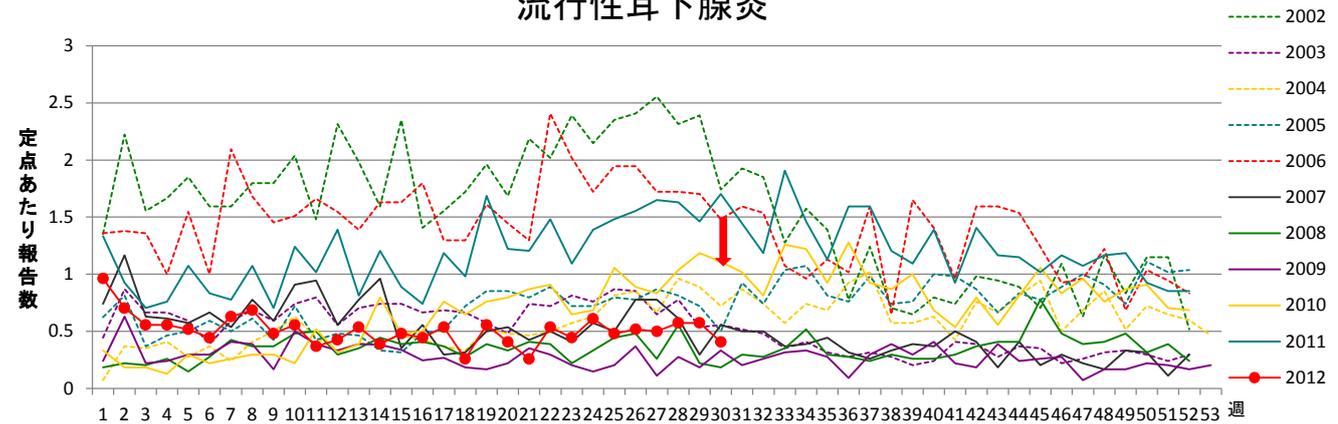
百日咳



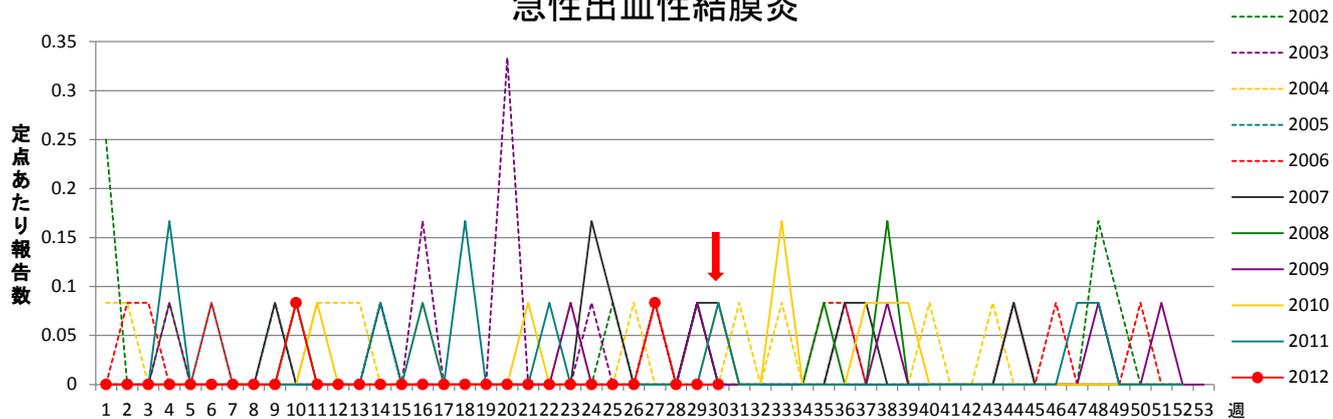
ヘルパンギーナ



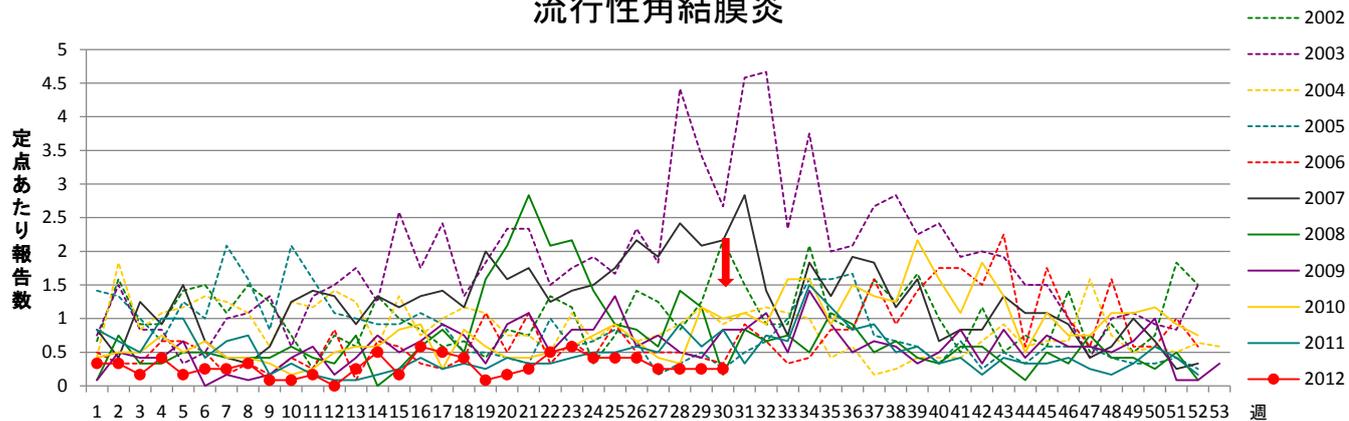
流行性耳下腺炎



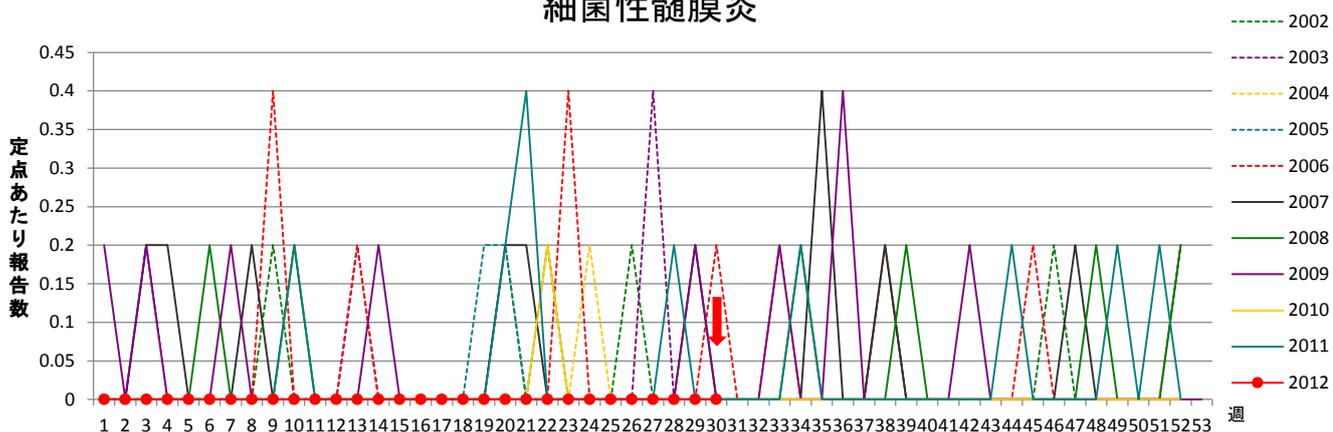
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎

